

【エクアドル政務・経済・外交：2024年7月】

1. 内政

(1) 非常事態宣言の発出

2日、ノボア大統領は、グアヤス県、ロス・リオス県、マナビ県、サンタ・エレーナ県、エル・オロ県及びグアヤス県一部において、国内が武力衝突状態にあることから、今後60日間は緊急事態宣言下とする旨大統領令を発出した。なお、同宣言発出により、住居の不可侵、通信の秘密不可侵、集会の自由等が制限される他、武器等の押収が可能となる。

(2) 2025年大統領選挙における候補者の得票率予想

6月26日から28日にかけて、世論調査会社「Comunicaliza」社は、2025年大統領選挙における世論調査を実施し、ノボア大統領が得票率32%と最も高い結果となった旨発表した。また、ノボア大統領に対する支持率は52%と、就任当初と同等の支持率を維持する結果となった。しかし、2024年1月にエクアドルが、国内において、テロ組織との間で武力衝突にある旨宣言した際は80%の支持率を記録していたことから、支持率は下降傾向にあるとした。その理由として、「Comunicaliza」社は、付加価値税(VAT)の引上げ、計画停電、燃料補助金の一部廃止等を挙げている。

2. 外交

(1) 第15回ペルー・エクアドル首脳会合の開催

4日、ノボア大統領は、リマにて開催された「第15回ペルー・エクアドル首脳会合」に出席し、ボルアルテ・ペルー大統領とともに、両国間の関係強化を目的とするリマ大統領宣言に署名した。同首脳会合では、6つの分野(安全保障・防衛、貿易振興・観光、鉱山及びエネルギー開発、社会開発、環境管理、輸送強化)につき、協議がなされた。また、ノボア大統領より、両国間の国境付近におけるペルーの治安対策に係る謝意が表された。なお、「第16回ペルー・エクアドル首脳会合」は、2025年エクアドルで実施予定である。

(2) ベネズエラ大統領選挙に関するノボア大統領の SNS 投稿

28日に実施されたベネズエラ大統領選挙に関し、ノボア大統領は翌日29日に SNS(X)にて以下を投稿した。

ア 中南米地域全体において、権力にしがみつこうとし、我々国民の平和を剥奪しようとする政治家は存在する。我々は、それに立ち向かおうとしているのであり、それこそが独裁政治による危険である。そして今日、我々は、それら政治家の1人が、何百万人ものベネズエラ国民の希望を剥奪しようとするのを見た証人となったのである。

イ エクアドルは、少数の利益が何百万人の意思を力でコントロールしようとするのを防ぐチャンスを得ることができた。ベネズエラもそのチャンスを得られるべきである。そ

のため、自分(ノボア大統領)は、外相に対し、ベネズエラの状況について議論するために OAS 常設理事会会合を開催するよう、必要な手続きの実施を指示したところである。

3. 経済

(1)2024年第1四半期における GDP 成長率

ア エクアドル中銀(BCE)は、2024年第1四半期における GDP 成長率がプラス1.2%(前年同期比)を記録した旨発表した。産業別では、GDP を構成する20のうち、10の産業(電気・水道、漁業・養殖、鉱物・採石、専門サービス、不動産等)がプラス成長の一方、10の産業(石油精製、建設、食品製造等)がマイナス成長を記録した。

イ 輸出入部門では、輸出額がマイナス0.5%(前年同期比)を記録した。これは、エビに対する外需の落ち込みが主な原因である。また、輸入額はマイナス3.3%(前年同期比)を記録した。これは、石油製品、自動車、及び輸送機器に対する内需の低下が主な原因となる。

(2)2024年第1四半期における海外直接投資額

2024年第1四半期における海外直接投資額は7,830万ドル(前年同期比プラス157%)を記録したものの、この額は例年と比べて低く、内政の混乱及び治安悪化が原因とされている。なお、2022年までの各四半期の海外直接投資額は、1億ドルを上回る水準であった。

(3)2024年第1四半期における自動車販売台数

2024年第1四半期における自動車販売台数は、5万7,022台(前年同期比マイナス18.7%、1万3,150台減)を記録した。当国の治安悪化、更には、4月からの付加価値税(VAT)等が自動車販売台数の減少に起因しているとされる。なお、直近数年間の自動車販売台数は減少傾向にあり、2022年は13万5,250台の一方、2023年は13万2,402台(前年比マイナス2.1%)を記録している。

(4)鉱山プロジェクトがもたらす経済効果

(ア)当地政治経済分析会社の「Spurrier」社は、現在エクアドルにおいて、15の鉱山プロジェクトが進行しており、今後30年間に2,170億ドルの経済効果をもたらすとした。これら内訳は、現在操業中の Mirador 鉱山及び Fruta del Norte 鉱山の他、経済評価の段階にある Loma Larga、Cascabel、Ruta del Cobre、Curipamba、La Plata プロジェクトやアドバンス・ステージにあるプロジェクト等が含まれている。

(イ)シルバ・エクアドル鉱業会議所(CME)事務局長は、鉱業は国の将来にとり重要分野であるとともに、責任ある鉱業により、サモラ・チンチペ県(注:操業中の鉱山が位置する県)では、貧困率が13ポイント減少する等成果を見せている旨述べた。